

## 第14回県政ひざづめ談議結果概要

開催日時：平成21年10月28日 15:30～

開催場所：甲府商工会議所

〔司会〕

それでは『県政ひざづめ談議』を始めさせていただきます。本日、進行をさせていただきます広聴広報課の堀内でございます。よろしくお願いいたします。

まず横内知事からあいさつをいたします。

〔知事〕

皆さんこんにちは。

今日はそれぞれお忙しい中をこうしてお集まりをいただきまして、本当にありがとうございました。皆様方は甲府商工会議所それから富士吉田商工会議所の女性部のメンバーとして、日頃この地域のためにご活躍をなさっている方々だというふうに聞いております。それぞれの地域における女性グループ活動のキーパーソンをやっておられる方々だということでありまして、そういう方々と色々とお話をできる機会ができて本当に嬉しく思っております。日頃色々な活動、地域活動を通じて、ああしたらいい、こうしたらいいというようなお気付きの点がたくさんあると思いますので、今日はどんなことでも結構でありますから、甲府の活性化、富士吉田の活性化、まあそれ以外の話でも何でも結構でありますので、お気付きの点をどうか忌憚なくお話をいただければありがたいというふうに思います。そんなことでよろしくお願いいたします。

〔司会〕

それでは、本日出席しております県の担当者を紹介させていただきます。

商工団体の指導、育成などを担当しております清水商工企画課長です。

〔清水 商工企画課長〕

清水でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

〔司会〕

それでは早速『ひざづめ談議』を始めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

〔参加者〕

本当にこういう機会を設けていただきまして本当にありがとうございます。

本日は甲府から13名、富士吉田のほうから5名の女性会員が出席しておりますが、甲府から口火を切らせていただきます。

〔参加者〕

地域の活性化には、県内外からの観光の方とか、そういう人たちに来ていただくことが必要だと思います。それには信玄公祭りがありますよね。信玄公祭りツアーというような形で何か企画していただきまして、大勢の方たちにPRしていただき、観光客を呼び込んでもらいたい。この前ちょっとニュースで見ましたら東京駅から高尾の駅までの電車の中で、山梨のPRをしているのをちょっとニュースで見たんですが、4月の信玄公祭りの時なんかにも、そういうPRもしていただくと効果があるのではないかと思います。甲州軍団出陣の中に女性の方の武田節を踊っていただくようなものを軍団と軍団の間にちょっと入れていただくと、そこにまた華やかさがあっていいんじゃないかなというふうに私は感じました。それからなるべく中心街に泊していただきまして、そして甲府の中を見ていただいたり、そういうふうな形のツアーというか、そういうものを企画していただくと本当にいいんじゃないかなと思います。また甲府城というか、舞鶴城の中も散策していただいて、歴史みたいなものにも触れていただくということも大切だと思いますが・・・。  
よろしく願いいたします。

〔参加者〕

信玄公の銅像がすみっこにあります、やっぱり駅前を中心にあるほうが山梨らしいと思いますけどね。

〔参加者〕

信玄公、武田信玄というのはやはり山梨にとっては世界に誇れる武将なので、やはり中心の所に中心人物がいるのがいいのではと感じます。また、広島に行きますとお好み焼の町とか、埼玉に行くと餃子の町、それからいろんな所に、北海道に行くとラーメン横丁とかありませよね。私は武田神社の近くに住んでいるんですけど、観光客がよくバスでいっぱい来るんですね。そして、「おほうとう」を食べたいという方がいらっしゃって、どこに行ったらいいんでしょうかというふうなお話を聞くんですね、まあ甲府の駅に降りた時にも。だから「おほうとう横丁」じゃないけど、おほうとうの商店街とか、もつの商店街とか、そういうふうなちょっとしたまとまった所があるといいのかなということも感じます。

〔参加者〕

北口の開発について、県の今の最近の予定というか、計画はどのようになっているのかお聞きしたいと思うんです。それから、例えば、憩いの広場みたいなものを作っていただきたいと思うんですが、あの辺に意外とないんです。子どもなんか連れていっても、こちら側に歴史公園がありますけど、ちょっと座って一服癒されるような広場があったらいいなと思います。また、壁面緑化というのがありますね。そんなような感じの、新しい緑化をしたらどうかななんてちょっと思ったんですが・・・。

〔参加者〕

今、中心街は大変冷え込んでいて、お店屋さんという飲み屋さんがあるだけで、本当

に夕方には人通りが絶えてしまいます。人が出て来ないと町も活性化しないわけですね。空き店舗が今結構あります。シャッター通りと言われるようにあります。考えるのに、今70代、80代で身体のちょっと弱い方はデイサービスなんかで色々集まって何か体操をやったり、色々な趣味もやっていますけれど、元気な70代、80代、90代の方が一人暮らしで話し相手もなくて、そういう方々が何か集える場所というのが本当ないんですよ。まだまだ元気で70、80の人たくさんいますので、そういう場所を県でも考えてもらいたいと思っています。

そしてあと一つよろしいでしょうか。私、これすごく耳にすることですけど、若い人たちが高校卒業して大学なんかには散らばっていて、色々な時にお友達と会おうという時に、山梨ではこの駅の周辺に会う場所というんですか、今度北口に図書館が出るみたいですけど、やっぱり何かそういう集う場所がなくて困っているという話を聞きますので、お願いしたいと思います。

〔参加者〕

私、直接中央商店街の皆さんに伺ったんですけど、9時にお店の方に大体みえるんですよ。そして午後7時にはもう戸を閉めてしまうんです。私たちが子どもの時代には、本当に浴衣を着て母親と楽しみに、中央商店街を歩くのは楽しみだというふうな時代だったんですけど、まあそれは時代の流れで仕方がないといたしましても、もう少し活性するように努力しなければならないと感じました。

〔参加者〕

よろしくをお願いします。

時計とめがねと宝飾の店を続けて78年になります。今三代目がかんばっております。

甲府の町ですけれども、甲府駅に降りて見る所がない。風林火山の時にはいっぱいお客様が来たけれども、本当に時間は滞在型ではなくて、バスから降りて、旗持った人の後をくっついて歩いて行って、見学が済むと平和通りにバスが来て、それに乗ってどこか長野県に行っちゃうとか。それともう終わったとたんに暇になってしまって、お土産を売っていたお店も本当に売上げが全然違うようになってしまったというか、継続性がないと言っているんです。

私はコンパクトシティという、地域で集約した店づくりをしていただきたいと思うんですけども、ちょうど今私が住んでいる20号線の拡幅が、23年の3月には大体となるようです。一応奥に引っ込む人は引っ込ませるんですけど、みんな年齢的に年取っちゃっています、経営者が、中央商店街も。だから人が集う町をつくりたいと思っても、恐らくかなりの人があの道のために出ていってしまうと思うんです。

〔知事〕

今広げている所ですか。

〔参加者〕

いえ、今交渉に掛かっています。

〔知事〕

これから広げようとしているね。

〔参加者〕

40億ぐらいの予算が来て・・・岡島のここから始まって次の角まで。それから太田屋さんという毛糸屋さんから4期に分けてするんです。

〔知事〕

交差点を直そうとしているんですが、それでしょうか。

〔参加者〕

そういう道が出た時に、恐らくコンパクトシティーのそれに沿ったものを造る計画が出てまいります。その時には県の方たちに音頭を取っていただいて、いい町づくりを是非していただきたいとお願いします。

〔参加者〕

県立博物館のことなんですけれども、今の現状として入場数がどのぐらい1年間で入ってらっしゃるのでしょうか。

〔知事〕

入場数ですね。

〔参加者〕

それに、私たちが見る限りでは余り何か入っていないみたいなの・・・。アクセスも悪いみたいで。

〔知事〕

余り入っていませんね。

〔参加者〕

ですね。それでちょっと麻生内閣の時にアニメ殿堂というような話が出まして、それ却下されちゃいましたけど。何か大学にそのアニメ殿堂が開設されるというふうな話もちょっと聞きましたけれども、山梨には博物館をはじめ素晴らしい建物があるので、それらを活用するという意味で、そういうものを山梨へ持ってきてもらえるような働き掛けを知事さんをお願いできたらということです。

もう一点、さっきの町づくりの話なんですけれども、私もちょっとあちこち世界のほうを歩いていますが、ヨーロッパとかには大きな広場があります。甲府の町にもそういうものを一つ造っていただいて、武田神社なんかが一番観光客が多いわけですね。それも利用しながら、信玄さんを活用した中の町づくりということもちょっと考えていただけたらあ

りがたいなと思っています。

〔参加者〕

それでは富士吉田の会長さん、お願いします。

〔参加者〕

座ったままで失礼します。富士吉田商工会議所女性会でございます。よろしく申し上げます。

私たちが生活をしている所は富士北麓、東部地域、昔で言う郡内です。国中と比べて道路とか、色々な諸々のものが今までは整備が遅れていましたが、やっと格差の解消が見えるようになりまして、今度国道138号線の4車線化、そして新倉トンネルの基盤整備の推進が行われまして、やっと御坂に穴が開きます。将来の方向性が開けるとしてとてもありがたく思っております。

〔知事〕

いやいや。

〔参加者〕

山梨は、東京から100キロ圏内にありますが、現状高速が千円になると山梨を通り越して長野まで行ってしまふ方が多い、そんな状況ですね。山梨県には何も魅力あるものがないのかということを感じるんですよ。いかに山梨へお客様を止めるかということですよ。日本はやっぱり観光立国としてやっていくということが叫ばれておりまして、それとともにまた教育ということに力を入れていかななくてはいけないということを考えられています。本当に高度成長期で突っ走ってきた私たちの時代です。もういろんな子どもの教育に対しては、お金だけは掛けるけども心は掛けないというところで、心を忘れてきたというところが、まあとんでもないことをしてしまったなという気持ちでいますけれども、そういうところを取り返すためにもこれから先20年、どういう方向で山梨県が進んでいくかということがとても大事なことだと思っております。

観光について、富士山は世界の方たちが日本で1番見たい所。富士北麓・東部の地域はとても素晴らしい、力強い富士が迎えてくれます。そういう感動を世界中の皆さん、また日本の皆様、みんなに感じていただきたい。また、いただける場所だと思っております。現在リニアが計画されていますが、是非リニアの停車駅を将来的に設けて、そして富士山の素晴らしい感動をみんなに味わっていただきたいと思っております。是非将来のことを踏まえましてお考え願いたいと思っております。

また、教育に関してですけれども、吉田でもいろんなことを考えておりますけれども、現状、東京に大学が集中していますよね。山梨は、山里というか、東京から100キロ圏内の圏内ですから、子どもを教育する学園都市という構想で、勉強する者は山梨で勉強して下さい。そういう構想もどうかと思っております。学校を誘致してもらって、出て行った人、若い人をこちらに戻す。是非お願いしたいと思っております。

〔参加者〕

富士北麓東部地域にガンの拠点病院をありがとうございました。何か国中地域との医療格差とかという、実は私のちょっと身近なことなんですが、最近私の兄が亡くなりまして、やっぱり病院が吉田には市立病院と日赤があるんですけど、そういったら申し訳ない、良い医師が余りいないと思うんですよ。私の兄は年齢も80でしたからあれですけど、ちょっと騒いだりすると、4人部屋ですから、何かすぐ注射を・・・。

〔知事〕

なるほどね、鎮静剤みたいなものを打たれちゃうんですね。

〔参加者〕

そうです。病院は一応市立病院と日赤しかないわけですから、何て言うのかしら、やっぱり立派なお医者さんに来ていただけるような、そういう安心して入院できるような病院にしていってほしいなと思うんですけどね。それを特に特にこのところ感じましたので、よろしく願いいたします。

〔参加者〕

本日はよろしく願いいたします。

かねてから念願でありました重度医療とか一人親ですね、それから小児の窓口の無料化を実現していただきましてありがとうございます。私の知人でお孫さんがまだ小さくて、窓口の無料化がとても助かっているという言葉聞きまして、本当に知事さんのお陰だなというふうに思っております。それから今日のテーマでありました『魅力ある元気な町づくり』ということで、私たちの富士吉田では、これは市の関係なんですけど、今図書館の建設が始まっております、再来年ですか、平成23年に完成するんです。これでいくとハード面というか、外の部分はすごい充実すると思うんですけども、その地域的にちょっと文化面が低いというか、弱いものですから、内容のことで、特にこの図書館の有効活用ということが大切になってくるんだと思います。それからそれには例えば育児中の方がゆっくりと本を、今の状態じゃそういう時間もないんですけれども、そういう所を提供して、そういう時間を作れる空間の提供とか、それから児童館的な機能を持たせて、住民の意見も取り入れて、有効に活用できるような、そういう図書館になってほしいななんて私も思っているんです。

それから県立高校なんですけれども、富士吉田で定時制のひばりが丘高校というのがあるんですけれども、すごく設備も良くて非常に立派な建物なんです。各学校とも設備もすごい整っているのに、そんなに活用していないんじゃないかというふうに思って、これはすごいもったいないことだなというふうに思います。そこをもう少し、やっぱり県とか市とかの行政の間でとても難しい問題はあろうかと思っておりますけれども、何とか普通の市民が何かそういう活用できたらいいなと思います。

〔参加者〕

本日はこのような機会を設けていただきまして誠にありがとうございます。

今回知事さんのご努力で吉田のスマートインターチェンジの設置が推進されています。地域経済の活性化、渋滞の緩和、災害への対応と、計り知れない恩恵があると思われまので、政権も変わり難しいところもあると思いますが、是非前進するようによろしく願いいいたします。

さて、こういう夢のあることもあるんですけども、現実にも目を向けてみますと、私たち下吉田の町の中は、全国どこでもそうだと思うんですけども、中心街がやはり元気がなく、特にまた高齢化が進み、今後空き家の問題が増加してくると思われまます。このことは町の景観や安全面においてもとても心配なことです。この問題につきましては、私たちがどうしても手を出せないというハードルがたくさんあるんですね。ですからそういう点で相続の法的な手続きとか、例えばこの辺はこの問題ですけども、私たちが詳しいことは分からないんですけど、例えば本当にもう古びているお家でも、さら地にするよりも柱一本でも立っているほうが税金が安いとか、あとそういうようなこともあるらしいんですね。やはり取り壊すには何百万という大きいお金も掛かったり、今はリサイクル法でどこでも捨てられないですよ。廃棄処分料とかというのもたくさん掛かるそうですので、そういう費用的な措置とか、やはり行政の支援をいただかないと、なかなか私たちもボランティアでお手伝いしたいなとすごく思っているんですけども、なかなかそういうハードルが高くて手が出せないというところがたくさんありますので、そういう面で国からだと思っんですね、税金、国・県・市、それぞれの立場でもっとそういう点で手が出せるように、前進できるようにやっぱり法改正なんかもしていただければ、この問題は全国どこにもある問題だと思っますので、是非その辺をお力をいただければと思っています。

私たちのこの下吉田の町は「昭和レトロ」というふうに観光の方たちが言って下さっているんですけども、実際そこに住んでいる私たちは何かそんな誇れるものは全然ないので、これからは昭和の時代の人間味あふれる町にしていきたいと思っています。できることからハードルを低く、何でも思い付いたら本当に失敗を恐れずに何でもやろうというふうに思っしていますので、これからも色々ご支援いただくことは多々あると思っんですけども、また是非よろしく願いいいたします。

〔知事〕

分かりました。

〔参加者〕

よろしく願ひします。

身近な所に、町に救急医療センターを設置いただき非常に助かっております。子どもたちがいる母親は、夜熱出してもどこも行く所がなく不安な一日を過ごしています。設置していただいてありがとうございます。

それから町づくりのことなんですけれども、私の回りにも空き家がたくさんあります。それで空き店舗対策は県とか市が助成してくれるんですけども、一般住宅の古い空家は、町の美観も損なますし、犯罪とか不審火とか犯行とかいろんな場所になりますので、是非県の特例をお願いしまして、地主と家主が一緒の場合はいいんですけども、なるべく壊す費用を出していただきたい。解体費用が高いからなかなか壊せない。そして壊しちゃうと

税金が高くなる。景観も悪い。そういう家がたくさんあります。それに支援していただきと、またそこに人が住んでいくようになりますので、是非何とかならないでしょうか。

〔知事〕

解体費用ですね。

〔参加者〕

みんな町が空洞化しちゃってね、中心街がみんな本当にシャッター通り、吉田もそうなんですよ。

〔参加者〕

よろしくお願いします。

最近知事が先頭にたって、ワインのPRをする機会がたくさんあるということを知っています。それで山梨は山紫水明の地ですので、ミネラルウォーターと一緒に宣伝していただけたらいいかなと思っています。ワインとかブドウとか桃とか、その他特産物と言うんですか、そういうものを宣伝するイベントなんかがありますよね。そういう時に一緒に並べておいて、セットにさせていただいて宣伝していただけたらいいと思います。そうすることによって販路が広がりまして、水というのは新しい産業ですので、これを進めて参りますと結構山梨のほうの経済も潤ってきて、経済的に良くなるんじゃないかと私勝手に思っていますので、是非ミネラルウォーターも宣伝していただきたいなと思います。よろしくお願いします。

〔参加者〕

地場の産業を強くするという事で、県の入札とかあるんですけど、入札はもう金額勝負ということで、大手企業とかと値段勝負という、地場ではとても太刀打ちができない。地場の産業、うちの会社の業種以外でもそういったいろんな業種がたくさんあると思いますが、地域活性、地場を活性するというのは地場の産業を県が利用していただければ、またそこで潤滑して動いていく。雇用にも反映するし、会社が元気でないと県も元気にならないと思うので、できましたら地場産業を優先的とまでは言わないんですけど、できるだけ地場の産業に目を向けてほしいと思います。

〔参加者〕

私も印刷関係の仕事をしておりまして、やはり魅力ある元気な地元をつくるには県民というか、私たち企業のほうが元気にならなければ新しい町づくりはできないんじゃないかと考えた時に、やはり入札制度の問題というのはやはり大きな問題です。ただ余りにも安い金額で入札されてしまうと考えると、材料も買えませんし、県外の業者に投げられてしまうと地元のせっきく設備投資してある業者が印刷できず、関連の紙ももう地元から買えないというのはちょっとやはり元気がなれない。私たちがやっぱり税金を納めるのであれば、地元の業者を使っただけで、ある程度の金額を把握していただいた上に入札制度というのを確立させていただければ、地元も元気になるし、関連の業者に



もお金が落ちた時に、また県のほうに税金を納められるという、そんな仕組みができると思うので、明るく元気に、私たちが元気になるためには県の投資もちょっと変えていただきたいというのが切実な願いです。お願いします。

〔知事〕

なるほど。そうですか。

〔参加者〕

本日はありがとうございます。

私も不況業種と言われていまして建築に携わっているんですけども、やはり県内の業者を是非使っていただけたらというのが強い希望です。そうしないと山梨も活力ある山梨にならないんじゃないかなと思いますので、是非よろしく願いいたします。

〔参加者〕

よろしくお願いします。

東京エレクトロンが仙台に行かないことになり良かったと思ってます。地域の活性化を図るには、何と言っても山梨へ人を呼び入れることが第一だと思います。富士吉田の方からも学園都市の話が出ましたけど、八王子が学園都市になっておりまして、すごい人の交流があるということを知っています。山梨も本当にいい場所なので、学園都市になるように、工業系の技術を学ぶ専門学校も山梨にはないようですので、是非そういう学校を作ってほしいと思います。すぐは実現できないかもしれませんが・・・。

〔参加者〕

総括して知事さんに・・・。

〔知事〕

そうですね。ずいぶん盛りだくさんなご意見をいただきましてありがとうございます。

まあ幾つか話をしていきますけれども、まず信玄公祭りツアーをやってくれというのは、実は今年からやっているんですよ、今年からね。信玄公祭りツアーをですね、JTBとか、そういうところが何社か、東京から。というのは従来はお城で出陣式をやっていたね。それを駅前にやるようにしましたですね。あれは結局そういうことなんですよ。棧敷を作らなきゃいけないと。信玄公ツアーで棧敷を予約するわけですね。ツアー用の棧敷を作らなきゃいけませんから、それで駅前に持ってきてそれで棧敷を作った。あれが評判が良かったものですから、来年はいよいよ信玄公祭りも40周年ですので、さらにその棧敷を増やすということをしようとしているんですけどもね。確かにおっしゃるように、このツアーをさらに拡大をすると。合わせて信玄公祭りの時期に輝きの祭典というジュエリーフェアをやっているんですよ。これはおいでになった方はおられるかどうか知りませんが、行ってみると並んでいるその宝石の金額というのは合わせるとかなりの額になるんですよ。これはすごいものですね。行った人が壮観だと言っていましたけども。それはハトバスが今年からそのツアーを組みまして、たった一日しか一般の方は見る時間

ないんですけれども、まあその輝きの祭典を信玄公祭りと一緒に見に来たりとかそういうことがあって、まあ段々信玄公祭りもそうやって東京あるいは、特に外国人がああいう日本の武者祭りというものに関心があるものですから、非常に評価が高まっていると。多分来年の40年はかなり多くのツアーが組まれるだろうと思います。

それから信玄公の銅像が隅にあるのは、あれは確かにそうなんですけども、まあしょうがないかなという感じがしますね。あれ真ん中に持ってくるというわけにはいかないですから。あそこの公園にあるというのは、まあ考えようによつたらもうちょっといい所へということはあるんですけど、将来、駅前ロータリーの計画がある時には考えなきゃいけないだろうと思います。将来南口をどうするかということが必ず議論が出てくるだろうと。南口からこの平和通りにずっと面して整備をするということが必要になってくる時には考えなきゃいけないと思いますね。

それから「ほうとう」とか「もつ」とか、そういうものを食べさせる屋台村というのが全国あちこちにあるんですけども、山梨、まあ甲府にもあるんですよ。南にちょっと下っていきますと屋台村みたいなものがありますけれども、「ほうとう」となると小作の「ほうとう」というのが有名なんですけれども、まあただこれは民間がやるものでして、なかなか県庁がとか、市役所が作るということもなかなかできないところがありますけれども、まあ確かによく分かります。

それから北口で今いろんな整備をして、あれは市が中心になって区画整理をやっているわけですが、県はご承知のように言うまでもなく駅の真ん前に図書館を、平成24年秋の会館に向けて取り組んでいます。割としゃれた品のいい、隣のYBS会館が非常に男っぽい建物ですから、どっちかという女性っぽい、ガラスを多用した、そして壁面緑化も合わせてやるんですね。そして上には全部太陽光発電が設置されている。図書館というのは結構集客力がありまして、例えば年間50万人とか60万人ぐらいの人が来るんですよ。ですから少なくとも賑わいにはかなり寄与するだろうというふうに思います。

それからあそこにはちょっとしたイベントとか、それから会合ができるような施設も中に設けられておりますから、駅の真ん前ですから交通の便がいいですから、使い勝手はいいだろうというふうに思います。合わせてNHKの放送会館ができたとか、その他いろんなものができてきて、あと5年後ぐらいには大体が整備されるんだと思います。ずいぶん今とは変わったものになると。合わせて駅の周辺に若い人が待ち合うような場所とか広場がないというお話ですが、それは甲府市が今作っている広場というのは、あれ「よっちゃばれ広場」ですか、あそこは非常に立派な芝生の広場じゃないでしょうかね、多分。「よっちゃばれ広場」というのは、駅の北口の真ん前にできますよね。藤村記念館もありますけども、かなり広い広場になるんですね、あれを見ているとね。あれは芝生ですか、それとも・

〔清水 商工企画課長〕

かなりロータリーの所が広がって・

〔知事〕

りっぱな広場になると思いますね。

それから空き店舗が確かにたくさんありましてですね、空き店舗を是非活用したいと。確かに一人暮らしのお年寄りが集まれるような場所というのもあるかもしれないと思いますが、やっぱり空き店舗を若い商業をやる人というのは安ければ借りるんですよ。そういうことをやろうとする人はいくらでもいるんですね。安ければ借りてお店をやってみたいという若い人は大勢いるんです。ところが甲府の空き店舗というのは家賃が高過ぎるんですね。どうも調べてみると、結局空き店舗を持っておられる方がもう年を取られてご商売閉めちゃって、しかしそこそこ、例えばさっき言ったように駐車場を経営していたりとか、それからちょっと家作を持っていたりとか、生計には困らない。ですけどその空き店舗を積極的に安くても貸そうという気持ちが余りおありにならないようできて、本当はああいいう空き店舗になったお店を、もう年を取ったからシャッター閉めると。しかし若い人にその店舗を安く貸してやろうと。その地域の商店街の活性化のために、若くて元気のいい人がそこにいるんな商売をやってごらんと、安く貸してあげるからと、そういう人が何軒も出てくると入ってくる人はいるんです。いろんなお店をやりたいという人は大勢いるんです。ただ高くてだめですね。

〔参加者〕

固定資産税が高いから。

〔知事〕

固定資産税も高いというのがありますね。

〔参加者〕

中央はとても高いです。

〔知事〕

そうですね。まあ固定資産税は、しかし地価が下がってききましたから追々下がってくるんですがね。

〔参加者〕

下がってはきていますけどね。

〔知事〕

地価は一桁0がなくなるくらい下がったんですけれども、家賃はそれほど下がらないんですよね。余り下がっていない。大体ピークの頃の6割とか、そのくらいじゃないですか。

〔参加者〕

かえって大里辺りのほうが今地価が高いです。

〔知事〕

かえってね。それはそうかもしれませんね。

〔参加者〕

中心街は本当に評価額で買うなんていうと25、6万で真ん中が買えちゃうんです。そして税金は住んでないから年間30万、40万の固定資産税がかかり、非常に大変なんです。

〔知事〕

そういう人はいっそのこと、だから安くてもいいから貸せば多少は・・

〔参加者〕

そうなんですよね。でも借り手はないですよね。

〔知事〕

借り手ないですか。安ければ借り手はいると思いますが、どうですかね。安ければ・・。それから中央商店街、店を閉めるのが早過ぎるって、それはその通りですね。

〔参加者〕

お客さんが来ないんですよ。ですから朝8時から夜8時までやっています。だけど本当もう6時半、7時から8時の間ほとんど誰も来ない。だからワシントンホテルから出てきたお客さんが、「甲府の町は真っ暗じゃん。どういう町、この町は・・」と。

〔知事〕

まったくね、まあセブンイレブンぐらいですよ、遅くまで開いているのは。あのセブンイレブンというのは何でセブンイレブンという名前を付けたかということ、7時から11時までということなんですよ。それは通常の商店街がイレブンセブンですからね、11時に開いて7時には閉まっちゃうと。それじゃいけないというんでセブンイレブンと付けたんだと。そして7時から11時まで開けるんだということでやったらいいんですが、やっぱりお客さんがいないからしょうがないですね、開けてると言ってもね。

〔参加者〕

この頃は連休が多過ぎて、そうなるとう本当にどこか行ってしまいますね。それで土日がまた暇なんです。

〔知事〕

あの辺の店舗の場合にはお宅を少し郊外にお造りになってということがあるんじゃないですか。

〔参加者〕

そうなんです。今度の道の拡幅であそこをずっと取られてしまうから、はんこ屋さんも、角のスポーツ屋さんも今どうしようかと考えているようです。

〔知事〕

あそこは結局交差点が変則交差点になっていましてね、非常に変なんですよ、ちょっとね。だからあれを何とか直さなきゃいかんということで直しているんですがね。まあ、基本的にはやっぱり是非やってもらいたいということなものですから・・

〔参加者〕

そうです。だからその20年前にはみんな反対でしたけど、今は反対する人が誰もいないんです。結局、じゃあお金を貰ってどこかへ行こうとか・・。

〔知事〕

まあそれはそうでしょうね。みんなお年寄りでお店をいつ閉めようかと思っておられる方々ですからね・・

〔参加者〕

そうなんです。そういう人ばかりなんです。だからどういう方が町を町おこしに来てやってくれるか。本当にこの地区は老人ばかりで住んでいる。それにおばあさんがとても多いんです。そういう人たちが生活していくには日用雑貨から食べるものから、ちょっと出てきてモーニングしようとか、そういうふうないい町づくりを是非また県の主導でやっていただきたい。

〔参加者〕

そして駐車場がないんですよね。

〔知事〕

まあ個人の小さい個人経営の駐車場はありますよね。あるんですが、やっぱりしっかりしたものはないというのはそのとおりですね。

〔参加者〕

何かのイベントがありますとね、入ろうと思う人もみんな『満』と書いてあって、結局ぐるぐる回って、私なんかまた家に帰ってきちゃうというのがあります。

〔知事〕

基本的に市の都市計画というのは市がやるもんなんですけども、県もできるだけやるといことで、今ようやく建物を壊し始めましたけども、旧西武の建物ですね。あれは壊して、そこに11階建かな、庁舎を建てるんですね、防災庁舎と言うんですけれども。まあ県警の建物というのは、山梨県警の場合には非常に分散をして、しかも地震が来れば県警の建物が一番最初につぶれるんですよね。それほど弱いんです。これは県警の本部がつぶ

れたら大変だと。警察のその司令塔がなくなっちゃったらえらいことになりますからね、地震の時にね。だからやっぱり県警というのはしっかりとした建物に入って、いざ災害の時にきちっと県民の安全を守れるような体制でなきゃいかんということですから、まあ防災庁舎を造って県警と教育委員会を入れるんですけども、その一階の、今は情報プラザ、あの一階の部分というのは県庁の建物にしませんで、あそこの所は交流プラザというのかな・・・。新しく建てた建物の一階の部分を商業施設にしましてね、ここにジュエリーミュージアムという、今山梨県の宝飾協会と話をしているんですが、ジュエリーの博物館。それはジュエリーの加工するのを、やっぱりそれを実物を見せるようなものも含めて、それと山梨のいろんな物産みたいなものを販売する。ワインももちろん。それからちょっとしたコーヒー飲んだりとか、ちょっとしたイベントができるようなスペースもあったりするというようなものを造るんですよ、あそこにね。だから甲府へ来た人がそこで買物をしたりとかはできるようになる。そして駐車場がないということですから、今度その道路をはさんで向こう側ですね、今だから県民会館という建物が建っていますけれども、これがまた戦後のすぐに建ったもので非常に危ないものですから、これはもう撤去しちゃいまして、一階を駐車場にします。そして二階は公園にしましてね、全体が甲府城の南側の公園、広場みたいな形になるわけですね。ただまあ、あと5年、6年、6年か7年後先になりませんがね。そしてその上は公園的にやりますから、そこで若い人たちがいろんなちょっとしたコンサートを開いているとかですね、まあ友達同士がそこで会ったりとか、そういうようなことはそこでできるようになるということですね。まあそういうことは考えているんですけどね。

あとは、県立博物館の入場数は当初10万を超えていたんですけども、最近6万人ぐらいになりましたね。まあ博物館というのはどこの県でも造った方がいいけど、そんなに観光施設というんじゃないんですよ、博物館というのはね。やっぱり一つの県として、その県の歴史とか、そういうものを体系的に見れる所というのは必要だということで造られている、まあ教育施設なんですね。したがって、あれを全部やめちゃってアニメの殿堂にするとすると、これはちょっと、これは色々抵抗はあることはあるんですよ、これはね。まあなかなかアニメの殿堂は難しいかなという感じは、全部博物館をやめちゃうということですよ

〔参加者〕

やめないで、それは残して、そしてその半分ぐらいを・・・。

〔知事〕

まあ半分といっても、今の博物館のあの機能を半分にしてというのも、ちょっとなかなか難しいでしょうな。

〔参加者〕

明治大学が24年から・・・。

〔知事〕

明治大学が要するにマンガ図書館みたいなものを作るとのことですよね。まあそのほうがいいでしょうね。

それと、この吉田のほうですけども、確かに高速道路の料金が千円になって山梨を通り抜けということになるんですよね、どうしても。ただまあ、しょうがないから中京地域、関西地域から呼ぶしかないんですよね。現実には中京地域、関西地域からかなりお客さんが来ているんですよね。まあこれはしかし困ったもんだけど、しょうがないんですよね。

リニアの駅を富士山の近くへというのは、都留市という意味なんでしょうかね。山梨県内で4つ俺の所へ俺の所へというのがあって、どうなるか・・・。

〔参加者〕

でもやっぱり甲府にほしいですよ。(笑) 甲府のどこかに・・・

〔知事〕

峡南の人たちは蹴沢に駅を造ってくれと言っていますけど・・・

これは、ただまあJR東海が全額金を出して造るものですからね、やっぱり彼らの考え方というのがまず前提なんですよ。というのは、技術的にリニアというのは普通の鉄道のようにちょっと曲がって、ちょっと曲がってというわけにはいきませんからね。簡単に曲がれませんから技術的に制約がありましてね。いずれにしてもその4つ、色々言われている中で、JR東海、それから県、あるいは地元の市町村といろんな話をしながら1、2年のうちに決めていくということになると思いますけどね。まあ大事なことは、やっぱりどこにできても山梨県の各地域からそこにスムーズに行けるようにアクセスをきちっと整備することだと思いますですね。

学園都市というか、確かに大学を持って来れるのは非常にいいんですけどもね、健康科学大学なんか地元の非常に努力で持ってきたわけですよね。ただやっぱり大学というのはどうしても、今はもうむしろ都心志向なんですよね。八王子にだーんといったん出てきて、しかしまた一回都心に戻っているんです。やっぱり若者というのは田舎というのは嫌なんです。

〔参加者〕

ただそれを変えないと・・・

〔知事〕

それはそうなんです。それで偏差値ががたんと下がるんです。田舎に持っていくと。だから結局都心志向で、教養学部2年間は田舎にいて、あと3、4年は都心にキャンパスを造ってというような形に段々なってきましたね。

それから病院のお医者さんのことですが・・・。

〔参加者〕

すみません、身近な例を言っちゃって・・・

〔知事〕

まあ例えば軽井沢なんかよりは病院はいいと言いますね。だから病院がいいから、この富士北麓に別荘を構えたんだという人も何人もいますよね。やっぱり病院サービスは悪くはないんですよ。まあしかしお医者さんの質が確かにどうかということはあるんですが、まあしかし私も知っていますけど両方の院長さんも立派な人でね。特に富士吉田市立病院の院長さんというのはお若くて、非常に意欲があって立派な方だと思いますね。まあいい人を送っているんじゃないかという気がしますけどね。山梨大学からみんな行っているんですよ、大体が。いい人が行っていると思うんですがね。

〔参加者〕

だから逆に私のところの若い者も山梨大へ入院しているんですよ。とにかく山梨大はすぐ吉田では評判いいんですよ。

〔知事〕

富士吉田市立病院で多分見て、あっこれはというんで難しい人を向こうに送るんじゃないんですか、そうでもないですかね。まあお年寄り、80歳のお年寄りは病院に行くとかえって悪くなりますね。私の母親もそうです。

〔参加者〕

本当に病院に行きたくないですね。元気な人も病気になっちゃう。

〔知事〕

それから赤十字病院のほうは今度いわゆる分娩、出産ですね、お医者さん一人増えるしね、ベットも10床増えて30床ぐらいになったのかな。だからもうあそこは、あの地域はもう若い女性が急ぎょ産気付いたといっけて行っても絶対に間違いなく出産を拒否するとなんていうことはないですね。そういうふうになっているね。

〔参加者〕

だから個人の産院は全部なくなっちゃいましたもの。だから前は産婦人科が、今度は婦人科だけ・・・

〔知事〕

レディースクリニックになっちゃったんですね。

〔参加者〕

産婦人科は市立病院と日赤しかないです。小さい、普通の病院は全部なくなっちゃいました。まあお医者さんも大変だろうと思いますけどね、時間関係ないですよ。

〔知事〕



ひばりが丘高校は確かにもったいないですよ、これは。これはまったくそのとおりでね、色々もっと活用したらいいんじゃないかと。一時期、市役所をあそこに持っていったらどうなんていうことを言っている人がいましたけど。まあ地域がどう考えるかですよ。それはおっしゃるとおりですね。

児童館を図書館に造るとするのは富士河口湖町の施設がそうになっていますよね。あれはもう評判高いです、ものすごく。あれはいいですよ、形もね。

〔参加者〕

是非県のほうからご指導をいただいて、いい図書館になるように・・・

〔知事〕

そうですね。

今度県は、金鳥居の所ですね、あれをずっと北に下っていくじゃないですか。そうすると下吉田に行きますとちょっと狭くなって、しかも古い街路灯が立っているところ、あそこを整備しようと思っているんですよ。そして電柱は全部地中化しましてね、配電線を地中化してずっと整備をしていくことになるんですがね。同時にやっぱり下吉田の商店街も、まあこれはなかなか面白い町じゃないかなと思いますね。もっと昭和というのを強調した町づくりをしていくと非常に面白いというふうに思いますね。

それから空き家を確かに壊すのを、それは確かにそうなんです。家が建っていれば固定資産税とかそういうのは安くなるんですよ、その下の底地の値段評価がね。確かあれ半分になるのか、どうだっけかな。

〔参加者〕

3分の1ぐらいじゃないですか。

〔知事〕

3分の1ぐらいだよ、家が建っているだけでね。まあそれだけ利用が制限されるから・・・。さら地にしちゃうとぐっと上がっちゃう・・・。

〔参加者〕

さら地にしたら3倍なんです。

〔知事〕

それは利用可能性が色々出てくるからですよ。家が建っちゃっていたら利用できないからということになるんですよ。まあそれはおっしゃるとおりでね、だからなかなかつぶさないということはありませんね。

〔参加者〕

つぶすのにお金が掛かるからね。

〔知事〕

要はそういう解体費ももって土地を買ってくれる人がいればいいですけどね。そういう人はいないということですね。困ったものですね、だけど。

〔参加者〕

今は環境の問題で解体にお金が掛かるんです。

〔知事〕

そのとおりですね。産業廃棄物だからね、それはおっしゃるとおりですね。

〔参加者〕

山梨の場合は空き家ナンバー 1 か何かですよ。

〔知事〕

空き家ナンバー 1 ですね。ただあの空き家は別荘が多いからなんです。住宅に占める別荘の比率というのは山梨県が一番多いんですよ。そうすると別荘というのは空いていますから、それが空き家にカウントされている可能性があるんですよ。だから空き家が多いんですね。全くの空き家ということではないと思いますね。別荘が多い、それから空き家も多いということですから、そういうことだと思うんですがね。

さて、産業の関係はミネラルウォーター。ミネラルウォーター業界は元気ですよ。サントリーを中心として、本当にがんばっている。

〔参加者〕

私のところの倉庫で水を預かっているんです。

〔知事〕

サントリーさん？預かっている・・・

〔参加者〕

サントリーさんとコカ・コーラさん、両方とも・・・

〔知事〕

両方とも白州ですね。それでじゃあ甲府に持ってきて・・・

〔参加者〕

はい。そして私どもの所から県外に出ますから、向こうへ売ってこっちにお金が入ってということですので、それから何か倉庫も忙しくなる。そして人も使えます。私の所も確かに今までよりかも雇用をしまして・・・。

〔知事〕

サントリーは水の生産量を5倍にしますよ。今工場を造っていますけどね。

〔参加者〕

この間行って見てきましたけどね、手なんか何も掛からないですね。全部機械が・・・

〔知事〕

だから山梨県がサントリーを宣伝しなくても、逆にサントリーに山梨県を宣伝してくれと今一生懸命頼んでいるところです。(笑)

〔参加者〕

まあ何はともあれ元気になって、新しい産業ですからね。結構展開していくんじゃないかと思ひまして・・・

〔知事〕

いや、この甲府盆地というのは、特に釜無川沿いなんか掘れば100メートル、200メートル、300メートル掘ればいい水があるんですよ。やっぱりこれは花崗岩ですからね、これはいい水なんです。だからそれを使って、そういう水を、良質な水を使う産業にはもってこいなんです。だからそういうことはおっしゃるように山梨の売りの一つだと思いますね。

それからお三方が言われた地場の企業を大事にするというのは本当にそのとおりです。ただ、建設業については県の発注する中で地場産業、地場に発注する比率が全国でも一番高いぐらいなんです。それだけ発注において地場産業、地元企業を意識しているんですね。それ以外のいろんな印刷とか、そういうものも地元を優先をしているんですけどもね、はずなんです。しかし優先はしてもいいんですけども、しかし同時に努力をしていただいて、まあ本当は県外に負けるもんかぐらいの気概があって、県外より安い値段で札入れるぐらいの勢いがあると大したもんです。というのは、結局一方において常に言われることは、貴重な県民の税金ですから、できるだけ安いところへということをするむきもありますよね。そことの兼ね合いです。そうは言ったって、いやしかし地場で生きている人たちは地場で税金を払っているんだからいいじゃないかと、こう言うんだけど、しかしそうは言ってもできるだけ安く有効に使うべきだと。いわゆる監査ですね、監査委員さんとか、そういう方々はそう言いますよね。その兼ね合いなんです。だから地場を優遇をすることはするんですけども、気持ちとしては県外に負けるもんかぐらいの、できれば俺たちが県外に出ていこうぐらいの心構えがあると非常にいいというふうに思いますけれどもですね。

あと、県外から人を呼び込むということはおっしゃるとおりで、まあ学校というのは先ほど申し上げたとおりです。

それから、人材がない、人材がないとみんな言うんですよ。山梨は若い人が足りない、若い人が足りないと。だから県は一生懸命工業高校に力を入れて、工業高校を卒業して企業に入ってもすぐ仕事ができるような体制を整えて、それから産業技術短期大学校という大学校の定員を今年は100人を130人に増やしましたからね。企業のほうはとい

うと、それは不景気だからしょうがないけど、今になったら全然一人も雇わないと言って  
いるわけですから、なかなか難しいもんですね。だけど確かにおっしゃるように人材の育  
成というのは大事だと思いますですね。

まあ、一辺りのお話はしたんですけど、また引き続き・・・

〔参加者〕

では私、すみません。今あと5年ぐらいで北口が色々な整備されている、これは嬉しい  
ことですけど、そうなると南のほうはかえってまた人がそっちに今度結構行くわけですか  
ら、どうなるのかなとすごいその心配はあります。どうでしょうか。

〔知事〕

南の駅前というのは結構色々なものが発展しているんじゃないでしょうかね。甲府の町  
の中じゃ一番南の駅前は・・・

〔参加者〕

タクシーが並んで、整頓して並んではいるけれども、昔の水晶の噴水があったほうがよ  
っぽど見せ場があるのに・・・

〔知事〕

そういうふうにする人はいますね。確かにあれ水晶の噴水、いつの間にとっちゃった、  
どこに行っちゃったんだと。大体誰かが取って持っていつっちゃったんじゃないかといって  
怒っていた人がいましたけども、確かにそれはありますね。

〔参加者〕

駅から出て、じゃあタクシーへ、まあ駅から降りた人が利用するとは思いますがね。さ  
あどこかへ行きましょうという感じで、駅から降りた時に左右眺めて、あっ、あそこへ入  
りましょうとか、ここへ入りましょうとかという、ちょっと漫画的な看板をおいてもいい  
し、さあどこへ行きましょうといった時に、舞鶴公園に行くのもちょっと分かりにくいで  
すよね。だからつながるようなお店も何かあるといいと・・・

〔参加者〕

観光案内をいま少し皆さんが入りやすいような、改札を出た所にちょっと案内はありま  
すけど、あれは見過ごして下に降りちゃって・・・。

〔参加者〕

富士吉田のほうはいかがですか。何かありますか。

〔参加者〕

吉田は、本当はお芋の町だったんですけどね、お芋が今だめでしょう。そして、いつの  
間にか「うどんの町」になっちゃったんだね。

〔参加者〕

「うどんマップ」というのもあるんですけども、やっぱり外から来た方は分からない、分かりづらいというか、そういう課題もあるようです。

〔知事〕

門構えが余りよく分からなくてね・・・(笑)

〔参加者〕

普通の家みたいになっていますからね。

〔参加者〕

春日通りの横丁がほとんど空いているんですよ。あそこにB級グルメの「おほうとう」と「鳥もつ」といった、そういうお店をずっと並べたらいいじゃないかという意見も方々で聞きますけれども・・・。

〔知事〕

まあそれは商工会議所でよく考えて(笑)、まあ商工会議所は何か町づくり会社を造ったとか、そういうことをやったりしていますね。今日午前中シャトレゼの、オリオン通りのシャトレゼの店に行ってきましたけども、皆さんおいでになったかもしれませんが、まあなかなかいいですよ。特に地下一階にはワインがね、割と小さいワイナリー、小さいけれども非常にいいものを造っているワイナリーのワインがずっとおいてあるんですよ。そしてテイastingして、いい時にはそれを買って、みんなで1,500円ずつぐらい買って。二階はケーキも食べられますけれども、ワインを味わえるレストランになっているんですよ。あれは必ず盛ってくると思います。ああいうものが次から次へと出てきますからね。

県庁もさっき言ったようにそういうものを建てて、まあ一階の部分はそうやっているんな賑わいの商業施設を入れる。そして県庁の中は、もう全く今もいろいろ中をきれいにしましてね、まあもちろん古いものは古いもので残すんですけど、あれもう全部フリーに、土曜日であれ日曜日であれ、人が全部ここを通れるようにするんですよ。そうしてまったくオープンな建物にしましてね、あの辺もやっぱりあと、そうですね、6年ぐらい経つとかなり変わってくると思いますね。まあ市役所も立派なものできていますよね。紅梅の再開発ができてというようなことがあったりしますから、まあ段々良くなってくると思いますが・・・。

〔参加者〕

本当に身近に色々聞いていただきましてありがとうございました。

最後をお願いでございますが、商工会議所は甲府と富士吉田と、山梨県で2カ所ですよ。それで女性会というのは今まで甲府だけだったんですけども、今度富士吉田のほうも順々に地盤を固めて下さいまして・・・。今度は県連という形でやっていきたいと思う

んですよね。県連ができあがったら少し支援をしていただければ、私たちもいろんな活動をするのに、そんなに大きな活動はできませんけれども、やっぱりみんな勉強していきたいんですから、やっぱりそういう優秀な講師を呼んだり、いろんな講演会とか、いろんなことをこれからやっていきたいと思うんですけれども・・・。よろしくお願いします。

〔司会〕

本当にお話は尽きないわけでございますけれども、だいぶ予定の時間を経過しておりますので、知事のほうから感想を含めまして、まとめのごあいさつをいたします。

〔知事〕

本当に皆さんそれぞれ大変に多種多彩な、身近な生活の中から感じられたご意見を聞かせていただきまして本当にありがとうございました。何にしてもやっぱり皆さん方がそうやってこの地域のために、町を良くするために一生懸命がんばっておられるということは一番大事だと思うんですね。大きな力になると思います。まあ女性の皆さんというのは、やっぱり男性に比べると非常に足が地に着いている生活実感で物を判断していきますから、余りむちゃくちゃなことは言わなくて、やっぱり着実に進めていくような感じがありましてね、やっぱり女性の皆さんが町づくりに参加するということは非常に有効だし、また素晴らしいことだというふうに思いますので、どうか皆さん是非がんばっていただきたいと思います。

どうも、ありがとうございました。